

# 地質ニュース

昭和 44 年 11 月

第 183 号

1969

解 説	山口西部地域のウラン鉱床……………小 村 幸二郎…1
トピックス	カッティングの磁性測定について……………斎 藤 友三郎…18
	サウンディングと密度検層の同時試験結果について…小 鯛 桂 ……24
	顕微鏡下の岩石 I 古生層泥質岩(その1)……………片 田 正 人 ……11 正 井 義 郎
	月の地質学 ④……………小 森 長 生…26
	水銀の話 ⑦……………岸 本 文 男…34
資 料	ノーベルドリリング(Novel drilling)……………河 内 英 幸 ……14 加 藤 完
海外事情	マレーシア旅行記……………嶋 崎 吉 彦…41
	13カ月太陽の国 ③……………村 下 敏 夫…46
	ラオスの首都ビエンチャンの3日間……………沢 田 秀 穂…52

編 集 地質調査所

表紙の写真

発 行 株式会社 実業公報社

噴気温泉地帯—玉川温泉—(西津軽・北秋田路 6)  
十和田・八幡平国立公園として知られる八幡平は、花輪盆地の南、岩手県境にひろがる高原状の火山である。その各所に噴気・温泉活動がみられ、玉川温泉もその1つである。この温泉は酸性川として有名な玉川の上流、標高740mの地点にあり、強酸性泉で、湯量の豊富なことは北日本随一といわれる。また、放射能をもつ温泉沈澱物“北投石”の産出でも著名である。写真は下流側から全景をおさめたもので、噴煙の部分に優勢な温泉湧出があり、それが熱湯川をなして流れ、周囲の山肌には噴気によって焼けただれたような変質帯が露出する。まさに焦熱の光景である。このような後火山作用の現象は、温泉や地熱の利用という面からだけでなく、岩石の変質・温泉沈澱物の形成機構・マグマの消長などを研究する手がかりとして地質学的にも重要である。  
(盛谷智之)